

(単元) 交通事故の現状と要因

(本時のねらい)

交通事故の防止には, 車両の特性の理解, 安全運転や歩行などの適切な行動, 自他の生命尊重の態度, 交通環境の整備が必要であることについて理解する。自分の経験や仲間との意見交換などをもとに, 課題の解決方法を考えたり, 日常生活に当てはめるなどして, とるべき行動を判断することができる。

(ICT 活用方法)

交通事故が発生する要因には, 主体的要因, 環境要因, 車両要因の 3 つがあり, それぞれがかかわって事故が発生する。その具体的な事例を, 電子黒板を使って映像を共有し, 各グループごとに分けて要因の分析を行った。教科書だけではイメージを高めにくい内容まで討論することができ, 活発な意見発表をすることができた。

また, グーグルマップのストリートビューを使用し, 自分たちの生活の中で危険な場所を話し合い, 実際にその場所の映像を見ることを通じて, 交通事故を自分たちの問題としてとらえることができた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	本時の目標を確認する。	本時の目標を示す。	本時の目標や, 教師自身の体験を話し, 交通事故の現場を提示する。	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の実例について考える。 ・生徒から出された原因を板書する。 ・原因は主体 - 環境 - 車両の 3 要素に分類できることを知る。 ・登下校中の危険箇所を見つけ, 回避方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の原因について個人で考え, ワークシートに書き込む。 ・グループで意見交換をし, グループ発表を行う。 ・校区の危険箇所や特徴についてあげてみる。 	 <ul style="list-style-type: none"> ・事故の事例を動画で見せる。 ・グループ分けと, それぞれの事例を学習するかを掲示する。 ・事故がなぜ起こったのか, 電子ペンを使って, 電子黒板に生徒が記入する。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・グループで意見交換をし、グループ発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所について全員で共有する。 ・各グループであがった危険箇所について、グーグルマップを利用し、実際に体験する。 	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の感想をワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを利用し、学習内容を振り返る。 	*補足など

(授業の様子)



活動内容の掲示や説明



生徒が電子黒板に記入する



グループ学習など

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

電子黒板の様々な機能を活用すると視覚に訴えた説明ができ、生徒の関心を集めやすい。教師の説明に興味を持ち集中すると生徒はより楽しく学べ、学習意欲の向上が期待できる。また、資料や生徒自身の意見を簡単に電子黒板に映し出せるため、以前よりも生徒一人一人の考えをクラス全体で共有しやすくなり、生徒も活発に自分の意見を発表できるようになった。